

令和4年度

第1回

越谷市立図書館協議会

《会議録》

日	時	令和4年5月10日(火)
		午後3時30分～4時08分
会	場	市立図書館 2階 視聴覚ホール

令和4年度第1回越谷市立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年5月10日（火）午後3時30分～4時08分
- 2 開催会場 市立図書館 2階 視聴覚ホール
- 3 出席者
 - (1) 委員
鈴木正紀議長、吾妻美紀副議長、舩田佳紘委員、櫻井亜莉沙委員
川俣薫委員、柿崎美枝子委員、澁口亜美委員、飯島孝子委員
岩元久徳委員、荒川美穂委員、根岸純子委員
 - (2) 事務局
茂木図書館長、中野副館長、松澤主任
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 内 容 以下のとおり

〈議事要旨〉

- 1 開 会
- 2 議 事

* 越谷市立図書館協議会運営規則第1条第3項の規定により、議長は協議会の会議を主宰する。

1) 報 告 事 項

(1)令和3年度開催事業について及び(2)令和4年度事業計画について

(事務局) 令和3年度開催事業について及び令和4年度事業計画について、資料の1ページ～8ページに基づき報告。

(議 長) ただいま、令和3年度開催事業について及び令和4年度事業計画について事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。

いきなり新型コロナウイルス感染症が流行したときは、ともかく感染拡大防止のため講座を全て中止したと思うのですが、だんだん図書館も新型コロナウイルス感染症の対応に慣れてきて多くのノウハウを蓄積していく中で、どうすれば講座を開催できるのか考えていった結果、昨年度は実施状況も緩和されてきたということではないかと思います。それを受けて3年目を迎えますが、新型コロナウイルス感染症の流行もいつまで続くのか何とも言えない状況です。

その他に何かご意見はございますか。ないようでしたら次の議事に移ります。

(3) 令和4年度予算について

(事務局) 令和4年度予算について、資料の9ページに基づき報告。

(議 長) ただいま、令和4年度予算について事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。

令和4年度予算の対前年度比を見ると100%に近いところはほぼ昨年度並みの予算額だと思うのですが、そうではない50%に減額されていたり逆に前年度より増えていたりする予算額もありますが、こういった点について何かございますか。

(事務局) 002図書館活動運営事業の上から4行目にある03蔵書等整備事業を見ると、当初予算額が5,774万円で前年度は1億1,306万円、対前年度比が51.1%と令和3年度の半分位になっております。これは先ほどご説明いたしましたが、令和4年2月に行った図書館システム更改にかかった高額の費用がなくなりましたので、今年度は予算が下がりました。

- (議 長) 単年度の事業であったためということですね。
- (事務局) 他には002図書館活動運営費の一番下の行にある06備品等整備事業の当初予算額は139万円で前年度が343万円ですが、前年度は録音図書作製のパソコンを新たに5台購入しましたが、今年度は購入しませんので下がったという状況となっております。
- (議 長) その他に何かご意見はございますか。ないようでしたら次の議事に移ります。

(4) 令和4年度越谷市教育行政重点施策について

- (事務局) 令和4年度越谷市教育行政重点施策について報告。
- (議 長) ただいま、その他について事務局から報告がありましたが、ご意見、ご質問等はございますか。ないようでしたら次の議事に移ります。
- その他にご意見などはございますか。
- (委 員) 令和4年度越谷市教育行政重点政策の33ページにある「学校等との連携と子どもが読書に親しむ機会の提供」なのですが、幼児や赤ちゃんに対しては何か特別な取り組みなどはありませんか。幼児などの読書活動は越谷市教育行政重点施策に含まれないということですか。
- (事務局) すみませんが、この施策に関しては学校との連携を中心に考えています。それ以外にはこどもカレンダーで、図書館で行っているイベントの周知を図っています。他には先ほどの会議資料の8ページを見ていただくと、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の関係で開催できておりませんが、本来なら「ちびうさちゃんのおへや」という0・1歳児と保護者に来ていただく主催事業がありまして、今年度も予定はさせていただいております。
- (委 員) それは参加者が来館してということですか。図書館から出向いてということはありませんか。
- (事務局) 基本的に来館していただいております。今のところ出向いてまで行っている事業はありません。
- (委 員) ブックスタートなどといったことも、まだ出向いていないですか。
- (事務局) ブックスタートと同じ趣旨の事業を複数行っていますが、全て参加者に来館していただく形が中心になっています。

(委員)

現在実施している幼児向けの事業はあるということですね。

(事務局)

幼児向けの事業を実施していないわけではないのですが、昨年から新型コロナウイルス感染症が流行しており子ども達に感染するのが一番危ないため、感染リスクがある環境はできるだけ排除しながら主催事業を開催しております。本年度も幼児向けの事業を一応予定はしていますが、感染者がまた減少したと思ったところで、連休明けの都内では感染者が増えたり、沖縄県の感染者数が過去最大になったりしていますし、7波が来ているのではないかという専門家の意見もあります。感染状況を見ながらできる限り安全に実施していく方向でおりますので、ご理解いただければと思います。

(委員)

学校図書館司書の方と図書館とは何か連携をしているのでしょうか。例えば図書館が令和2年度に代替事業としておたのしみ袋とかテーマ展示をやっていることを、学校図書館司書の方もヒントにして何か展示などを行ったらいいなと思いました。そのため、図書館と学校図書館司書の関係はどのようなものかと思ったのです。

(事務局)

学校図書館司書と展示内容などの連携はしておりません。団体貸出やそれに関連した部分や、これは学校図書館司書だけではないのですが学校の司書教諭と先ほどご説明した新小学校一年生に図書カードを配っていただくものや、授業で使うイベント関係の団体貸出でご連絡しています。後は図書館から直接ではないのですが、実際に学校司書の方の統括をしている指導課を通してという形で連携を図ったりしています。そのため学校図書館司書から展示について意見を聞くとか、逆にこちらからこんな展示しているというお知らせをするという連携はないという状況です。

(委員)

図書館が行っている展示を参考にして、学校図書館も展示の工夫ができればいいなと思いました。

(事務局)

図書館では中学校の図書委員にお願いした本の紹介のポップを列記して、対象の本と一緒に展示もしています。全部の中学校とは限らないのですが、学校図書室でも図書委員がポップを作ったりと似たようなことは行っていたりするので、図書館と連携しているわけではありませんが、展示の内容は関連しているのではないかと思います。

(委員)

今の話とは、ずれてしまいますが、葛飾区で新生児、2歳児、新小学校一年生、新中学校一年生に本をプレゼントするというニュースが先日放送されていました。

ネットニュースや葛飾区のホームページを見ても詳しい内容までは見られなかったのですが、私も内容はあまり分からないのですが、2歳児には数冊の本の中から子どもに好きなものを選ばせるそうです。小学生と中学生はどのように選ばれるか具体的には放送しておりませんでした。まずは本をプレゼントして本に興味を持たせ、その流れで図書館に引き付けるということなのかと思いながら葛飾区の取り組みを見ていました。そのため図書館に行きましようと言う前に、そういう形でプレゼントされた本を読んだら面白くてもっと読みたいから、保護者も子どもと一緒に図書館に行こうとなるのではと思いました。学校にお任せするのもいいと思うのですが、その前にこのような方法で親子を図書館に引き寄せる取り組みを行うための予算があればいいと思いました。

(委員)

越谷市もブックスタートは保健センターなどで行っていたと思います。

(事務局)

ブックスタートと同じ趣旨の事業の一部に関しては、図書館ではなく子育て関係の課所において実施しております。そのため対象は新生児などになってしまいますし、中学校では行っていません。本のプレゼントは人口規模も大きく対象者もそれなりの数になりますので、図書館の予算があればということになります。ただ先ほどの開催事業の説明でお話いたしましたが、越谷市では新小学校一年生に図書館の利用券の作成をお願いして図書館に来ていただくよう促すという事業を実施しておりますので、そちらを継続して行うということで、ご理解いただければと思います。

(議長)

越谷市もリサイクル本など、新しい本でなければプレゼントすることは可能でしょうか。

(委員)

葛飾区は恐らく新しい本をプレゼントしていました。あと海老名市は市の予算ではなく、商工会議所といった外部から寄付してもらって本をプレゼントしています。

(事務局)

先ほど議長もおっしゃっていたとおり、葛飾区と同じような形で子どもにリサイクル本を渡すという事業を行っている市もあったと思います。

越谷市も展示したりサイクル本をご自由にお持ちくださいという事業は行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の関係でそういう事業もできない状況です。実際に今もリサイクル本を展示しておりませんが、新型コロナウイルスが落ち着いてくれば、継続していきたいと思っています。

(委員) どういった本がリサイクル本の対象となりますか。

(事務局) 基本的には、貸出を開始してからある程度の年数が経過していても本の状態がいいので、図書館での貸出は難しいですがご家庭でならまだ読めるものが対象です。例えば料理の本はある程度の冊数を購入しています。

(委員) 子どもが対象のリサイクル本はありますか。

(事務局) いいえ全部一般書です。野球などスポーツの本だったり、料理の本や小説を含めて、本の状態がいいので持ち帰られてもまだ読めるものです。

(委員) リサイクル本の対象もどちらかといえば、大人よりも子どもの方がいいのではないかと思います。子どもが高校生くらいになると勉強が忙しいから本を読まなくなることがありますので、子どもが小さなころから本に親しませるためには、いろいろな本を読むことが必要だと思います。言葉は悪いのですが、大人にはもういいのではないのでしょうか。

(事務局) 児童書は意外と貸出が多く、リサイクルに回せないほど読まれているため、児童書をメインにしたリサイクル本は難しいです。

(委員) それに関連してよろしいでしょうか。おはなし会のために市内の保育所を訪ねると子ども達にリサイクル本が届いているのですが、状態がいい本ばかりではありません。もう少し子どもたちを大切に思うのなら、リサイクル本ではなくてきちんと予算をつけて欲しいと毎回思います。前回保育所の所管は図書館ではないと聞いたので、予算がどこから来るのか分からないのですが、保育所長に尋ねると図書費は予算が少ないので新たに本を購入できないと言われてしまいます。本当に子ども達には新しい本を手渡したいのですが、この現状をどこに話せばいいのかと思います。図書館の予算を決める時も配分についての話し合いが教育委員会内であると思うのですが、ぜひこれから少子化となっていく上で、世の中を担っていく子どもたちの事を真剣に考えるのなら、例えば保育所

の本のことも向き合い考えていってほしいといつも思っています。私たちもおはなし会で使用した1年間分の本のリストを保育所に置いてきて、リサイクル本が配られる時にそういった本があったらぜひ入れてくださいとお伝えしていますが、本を選ぶ先生方も忙しいです。リサイクル本も古いものだったりするのでなかなか難しいです。それに子どもたちもやはり新しい本を手に取りますので、そういうことも含めて考えていただきたいと思っています。お金の問題になってしまうので、どこが負担するかということもありますが、ぜひ後押ししていただけたらと思います。

(議長)

それでは、これで協議会を終了とさせていただきます。委員の皆さんのご協力を賜り、本日予定していた議事を無事に終了することができました。ご協力ありがとうございました。以上で議長の任を降ろさせていただきます。事務局へお返しします。

6 閉 会